



2026年5月13日

各 位

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
株式会社クロス・マーケティンググループ  
代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹  
(コード番号: 3675 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役CFO 小野塚 浩二  
(TEL. 03-6859-2259)

**連結子会社クロス・マーケティングによる  
調査データのAI分析プロセスを型化する「リサーチAIスターター」提供開始のお知らせ**

当社の連結子会社である株式会社クロス・マーケティングが、報道機関向けに下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

調査データのAI分析プロセスを型化する新サービス「リサーチAIスターター」を提供  
～調査データから、誰でも・短時間で・品質を担保し・データ主導の示唆を  
得られる組織への進化を支援～

詳細につきましては、次ページ以降のプレスリリースをご参照ください。  
なお、本件が当社の2026年6月期連結業績に与える影響は軽微です。

以上

**調査データのAI分析プロセスを型化する新サービス「リサーチ AI スターター」を提供  
～調査データから、誰でも・短時間で・品質を担保し・データ主導の示唆を得られる組織への  
進化を支援～**

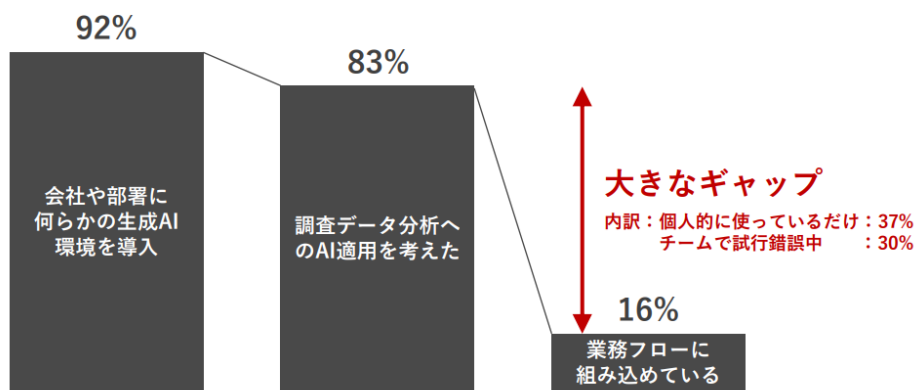
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区 代表取締役社長兼 CEO：五十嵐 幹、以下「当社」）は、調査データ分析における生成AI活用を支援する新サービス「リサーチ AI スターター」の提供を開始します。

本サービスは、調査部門やマーケティング部門などで現在行っている調査データの分析プロセス全体を、生成AIを駆使したワークフローとして再構築し、分析マニュアルに落とし込むことで、手順に従って分析すれば調査データから「誰でも」「短時間で」「品質を担保して」「データ主導の示唆」を得られる組織への進化を支援するものです。

**■背景：調査業務における生成AI活用の高まりと、実務定着の壁**

生成AIの進化が加速する中、調査業務においても「データの分析にAIを活用したい」という機運が高まっています。当社が2026年2月に実施した顧客アンケート（n=115）では、約92%の企業が会社や部署に何らかの生成AI環境を導入しており、そのうち約83%が「調査データ分析へのAI適用」を考えた経験があると回答しました。

一方で、実際に「業務フローに組み込んでいる」企業は約16%に留まっており、生成AIを導入・検討しているものの、調査データ分析の実務に活用しきれていない企業が多いことがうかがえます。



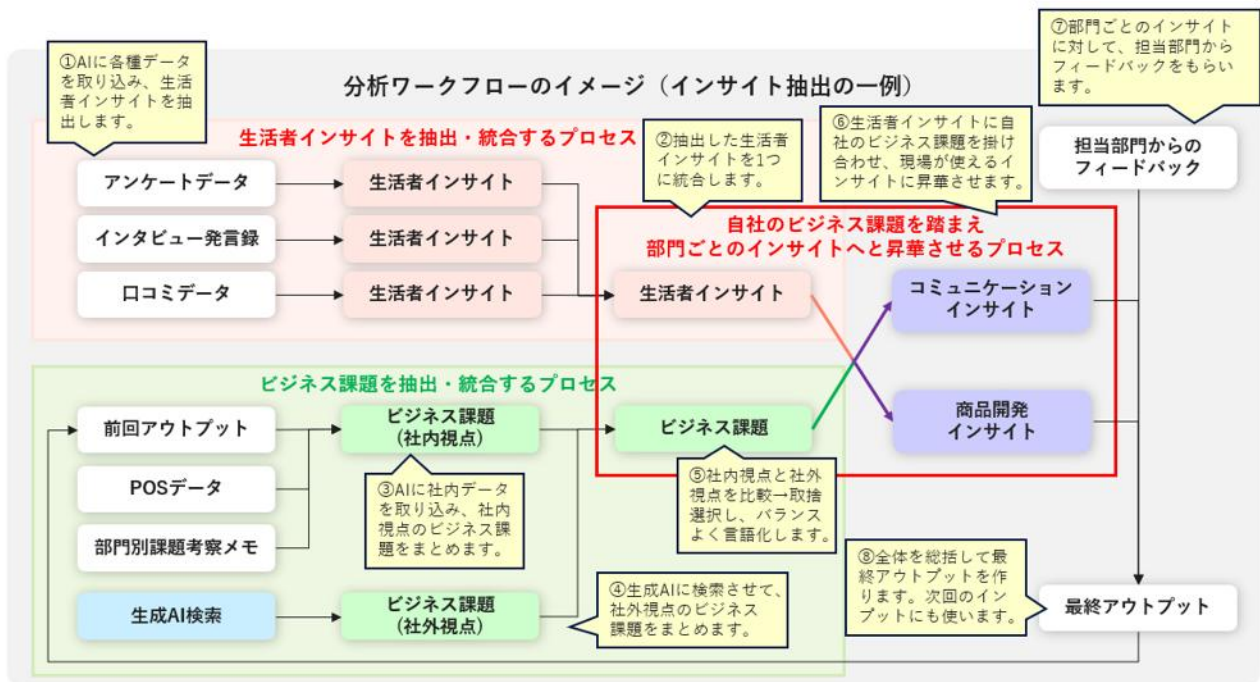
※クロス・マーケティング顧客に対するアンケートより引用（2026年2月、n=115）

調査データをそのまま生成AIに読み込ませても、ハルシネーションが起きる、表面的な一般論しか返ってこない、調査データと社内データ・POSデータ・口コミデータなどを組み合わせた総合的な考察に至らないといった課題があります。実務で活用できる分析結果を得るには、AIが正しく読み込めるデータ形式を担保したうえで、調査のセオリー、調査の意図、ビジネスの背景といった文脈を、AIが理解できる形で適切にインプットする必要があります。

### ■「リサーチ AI スターター」の概要

「リサーチ AI スターター」は、調査データの分析プロセス全体を「プロンプト&運用フロー」として型化する立ち上げ支援サービスです。多くの企業で導入されている Copilot、Gemini、ChatGPT などの生成 AI を最大限に活用し、お客様が求める調査データ分析の業務プロセスを、AI を駆使したワークフローとして設計します。

納品物としては、分析プロセス全体において、どのようなデータを入力し、どのような観点で整理・統合し、最終的にどういった意思決定や施策検討につなげるかを整理した「分析ワークフロー図」と、実際の業務で運用するための詳細な手順をまとめた「分析マニュアル」をご提供します。



### ■成果につなげる 「リサーチ AI スターター」3つの特徴

1. AI ツールの提供ではなく、お客様側に今ある AI ツールを使いこなすための伴走支援
2. 単なるプロンプト作成ではなく、一連の分析プロセス全体を言語化・型化
3. 単発の作業外注ではなく、お客様が自走できるようにするための分析マニュアルを納品

### ■クロス・マーケティングが支援する強み

調査データを AI で分析するには、生成 AI ツールへの理解に加え、調査のプロフェッショナルとしての知見が必要です。調査データには、独特な集計手法や数字判断があり、調査の背景や目的を踏まえて数値に意味付けを行うことが不可欠です。当社は 2003 年の創業以来、マーケティング・リサーチ事業を通じて調査設計・分析・レポートの知見を培ってきました。また、リサーチデータの AI 分析のための研究開発を完全に内製化しており、社内にいるエンジニアが毎月アップデートのある Copilot、Gemini、ChatGPT などの生成 AI を継続的に研究しています。こうした知見・実績もとに、リサーチデータの多層的かつ複雑な要件を整理し、AI が扱える分析プロセスとして言語化・型化します。

実務で求められる示唆は、調査データだけで完結するとは限りません。売上/POS データ、口コミデータ、公的統計データ、過去レポートや社内の課題情報などを組み合わせることで、より意思決定に活用しやすい考察につながります。当社は、こうした複数データを扱う分析工程の設計から、業務環境や活用レベルに合わせた実用性の高い AI 分析ワークフローの構築、運用マニュアルへの落とし込みまでを一気通貫で支援します。

#### ■こんな方におすすめ

- ・ 調査データの分析に生成 AI を活用したいが、期待する示唆やアウトプットが得られていない方
- ・ 調査データと売上/POS データ、口コミデータなどを組み合わせ、より実務に活用しやすい考察を行いたい方
- ・ 分析業務の属人化を防ぎ、チーム内で再現性のある分析プロセスを整備したい方
- ・ 既に導入している生成 AI を、調査業務の実務フローに組み込みたい方

#### ■サービスページ

詳細・ご相談・お見積もりは、以下のサービスページよりお問い合わせください。

<https://www.cross-m.co.jp/service/data-marketing/research-data-genai-analysis>

#### ■関連ウェビナーのご案内

本サービスに関連し、調査データ分析における生成 AI 活用をテーマにしたウェビナーを開催します。実際のデータと分析ワークフローを用いながら、調査×AI でビジネス成果につながるアウトプットを生み出すための考え方を具体的にご紹介します。

タイトル：【実演解説】調査×AI で「使える」ビジネス成果を出すには？属人化を防ぎ、組織の武器となる分析ワークフローの作り方

日時：2026 年 5 月 19 日（火）14:00～15:00

詳細・お申し込み等は、以下 URL 先のページ内に記載しております。

<https://www.cross-m.co.jp/seminar/20260519>

今後も当社は、さまざまな手法を取り入れながら、お客様のマーケティングパートナーとして、ニーズに適したマーケティング・リサーチ、マーケティングソリューションを提供していきます。

#### 【会社概要】

会社名：株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>

所在地：東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー24F

設立：2003 年 4 月 1 日

代表：代表取締役社長兼 CEO 五十嵐 幹

事業内容：マーケティング・リサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルテーション

#### ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社クロス・マーケティング

広報担当：マーケティング部

TEL：03-6859-1192

E-mail：[pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp)